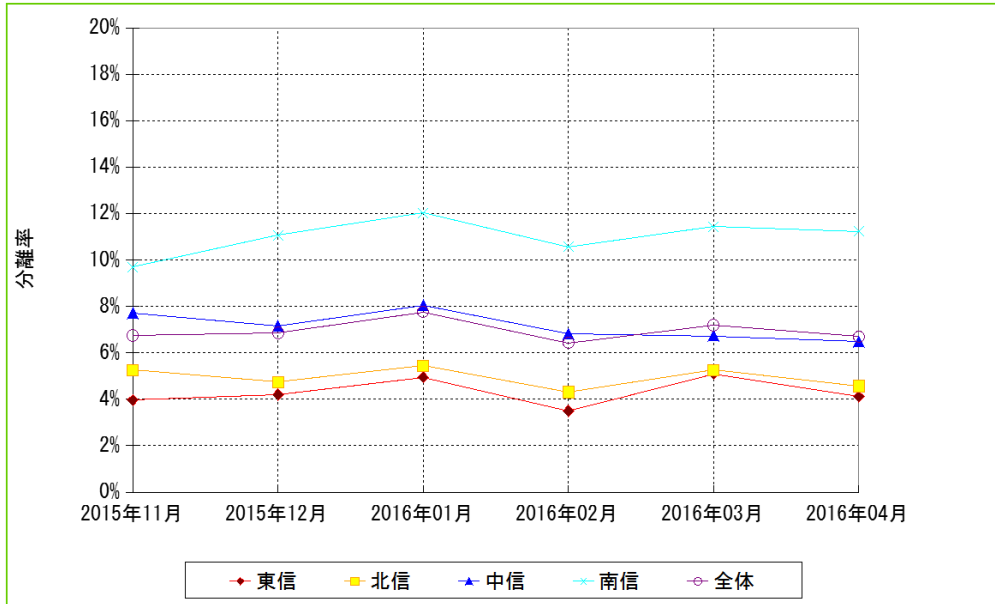


# 長野県各地区の耐性菌分離率

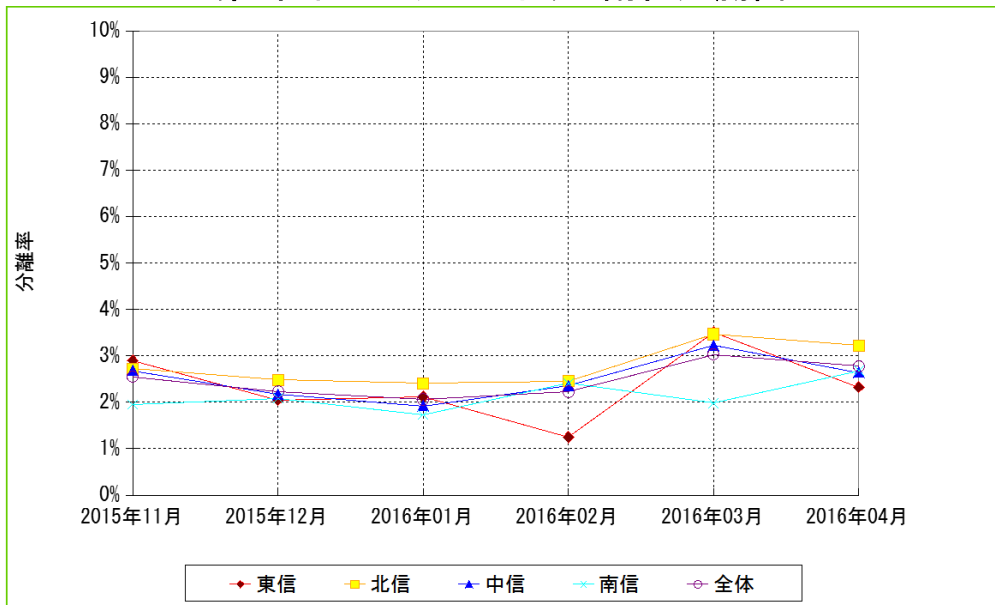
- 対象期間 : 2015年11月～2016年4月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年5月27日
- 集計対象施設数 : 52施設

## メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)



	2015年11月			2015年12月			2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	932	37	3.97%	976	41	4.20%	989	49	4.95%	800	28	3.50%	941	48	5.10%	900	37	4.11%
北信 計	1653	87	5.26%	1814	86	4.74%	1743	95	5.45%	1785	77	4.31%	1845	97	5.26%	1707	78	4.57%
中信 計	1193	92	7.71%	1243	89	7.16%	1304	105	8.05%	1189	81	6.81%	1398	94	6.72%	1328	86	6.48%
南信 計	1330	129	9.70%	1437	159	11.06%	1504	181	12.03%	1372	145	10.57%	1461	167	11.43%	1380	155	11.23%
全体 計	5108	345	6.75%	5470	375	6.86%	5540	430	7.76%	5146	331	6.43%	5645	406	7.19%	5315	356	6.70%

## 第3世代セファロスポリン耐性大腸菌



	2015年11月			2015年12月			2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	932	27	2.90%	976	20	2.05%	989	21	2.12%	800	10	1.25%	941	33	3.51%	900	21	2.33%
北信 計	1653	45	2.72%	1814	45	2.48%	1743	42	2.41%	1785	44	2.46%	1845	64	3.47%	1707	55	3.22%
中信 計	1193	32	2.68%	1243	27	2.17%	1304	25	1.92%	1189	28	2.35%	1398	45	3.22%	1328	35	2.64%
南信 計	1330	26	1.95%	1437	30	2.09%	1504	26	1.73%	1372	33	2.41%	1461	29	1.98%	1380	37	2.68%
全体 計	5108	130	2.55%	5470	122	2.23%	5540	114	2.06%	5146	115	2.23%	5645	171	3.03%	5315	148	2.78%

# 長野県各地区の耐性菌分離率

- 対象期間 : 2015年11月～2016年4月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年5月27日
- 集計対象施設数 : 52施設

## 多剤耐性緑膿菌(MDRP)

	2015年11月			2015年12月			2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	932	0	0.00%	976	0	0.00%	989	0	0.00%	800	0	0.00%	941	1	0.11%	900	0	0.00%
北信 計	1653	0	0.00%	1814	0	0.00%	1743	0	0.00%	1785	1	0.06%	1845	1	0.05%	1707	1	0.06%
中信 計	1193	0	0.00%	1243	1	0.08%	1304	0	0.00%	1189	0	0.00%	1398	0	0.00%	1328	3	0.23%
南信 計	1330	1	0.08%	1437	0	0.00%	1504	1	0.07%	1372	1	0.07%	1461	1	0.07%	1380	2	0.14%
全体 計	5108	1	0.02%	5470	1	0.02%	5540	1	0.02%	5146	2	0.04%	5645	3	0.05%	5315	6	0.11%

## 抽出条件・統計処理

- ・対象期間の入院患者を対象とする。
- ・重複処理は患者IDが同じ場合1件とカウントする。
- ・耐性菌の分離率 = [(菌分離患者数) ÷ (検体提出患者数)] × 100(%)
- ・過去月分の分離データは集計日以降に送信されたデータも含む。  
(過去のレポートデータと異なることがあります、ご了承ください。)

## 信州インфекションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌判定基準

菌名	概要	微量液体希釈法	ディスク拡散法
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	MPIPCが“R”の <i>Staphylococcus aureus</i> (またはCFXがディスク拡散法で“R”)、又は選択培地でMRSAと確認された菌	MPIPC ≥ 4μg/mL	MPIPC ≤ 10mm CFX ≤ 21mm
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記条件をすべて満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系が“R” ・アミカシンが“I”か“R” ・フルオロキノロン系が“R”(LVFX、CPFXのいずれか)	IPM・MEPM ≥ 8μg/mL AMK ≥ 32μg/mL LVFX ≥ 8μg/mL CPFX ≥ 4μg/mL	IPM、MEPM ≤ 15mm AMK ≤ 16mm LVFX ≤ 13mm CPFX ≤ 15mm
第3世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX、CTRX、CFPMのいずれかが“I”か“R”、又はCAZが“R”の <i>Escherichia coli</i>	CTX ≥ 2μg/mL CTRX ≥ 2μg/mL CFPM ≥ 16μg/mL CAZ ≥ 16μg/mL	CTX ≤ 25mm CTRX ≤ 22mm CFPM ≤ 17mm CAZ ≤ 17mm